

タブレットを活用したスピーチ発表と振り返り (NEW HORIZON English Course 2 Unit3 My Future Job)

①話・発

②個・表

②評価

③タブ

【ここがポイント！】

④ ポジショニング

①「動画撮影の活用」

夏休みの思い出についての発表をペアで撮影した後に、単語の発音や、表現の方法について動画を再生して繰り返し確認する。お互いに発表を撮影し合い、何度も練習して、最も良い動画を提出し、指導者はそれを評価する。

②「ポジショニング (SKYMENU Class) の活用」

振り返りの時に「ポジショニング」を活用する。動画の撮影について、提出した内容が課題をどれだけクリアできたのか自己分析させて、どの位置に当たるものかを表現させる。それをクラス全体でシェアして、どうしてそのポジションを選んだのか口頭で具体的に説明させて交流を図る。指導者は各自作成したポジショニングから評価することができる。

【実践の目標】

夏休みの思い出について、ALT に分かりやすく伝わるように工夫をしてスピーチをすることができる。

【実際の場面】

1. 英文を作成する

夏休みの思い出について、英文を作成した。事前に Small Talk やライティングで夏休みの思い出について表現しており、言語活動の時に得た正しい表現や新たな情報を取り入れた内容の英文を盛り込みながら、それらを元に再構成する形で、夏休みの思い出について、英文を作成した。

2. 発表の練習をする

スピーチ原稿を用意して、発表練習を各自行った。そして各ペアで互いに練習を行い、アドバイス等を交流し合った。その後、撮影を複数回繰り返して、何度も見直して工夫改善に取り組んだ。



3. 他のペアと交流する

撮影した動画を他のペアと見合っって他者のスピーチから学んだり、アドバイスをもらったりするなどして交流を図った。再度動画の撮影を行った。

4. 動画を選択して提出する

複数回撮影した動画から課題をよりクリアしているものを選択させた。提出ボックスに入れるよう指示をして指導者に送信させた。

5. 全体で振り返りをする

ポジショニングを活用して各自の端末で今日のスピーチについて振り返りを行い、その後で全体でシェアをした。スピーチについて、「うまくできた」と「ちょっと・・・」の幅の中で自分ほどの位置に当てはまるかを選択させた。その後、クラス全員が選択した位置を確認して、なぜその位置を選んだのか、具体的に発言させて、今後の学習に自分が感じたことと他者からの学びを全員が活かすことができるようにした。

6. 評価を行う

後日、教師用フォルダに提出された動画について指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

- 撮影した動画を確認しながら他者からもアドバイスをもらうなどして「学び合い」を進め、何度も撮影を繰り返し、言語活動の取組を深めることができた。
- 提出された動画を評価することにより、「話すこと」のパフォーマンステストを時間に余裕を持って評価することができるようになった。
- 英語の学習に苦手意識を持つ生徒が興味を持って取り組むことができる。

【課題】

- 伝えたい表現や単語、語句等の発音も各自で調べて準備することができるので、今後時間配分等を考えて取り組ませ、活用させていきたい。
- 指導者によるICTの活用がまだ不十分であるので、今後も研修を進めていきたい。

安芸高田市立八千代中学校

